とよなかの環境
2025年度　速報版

豊中市では「第３次豊中市環境基本計画（改定）」に基づいて環境施策を進めています。
「とよなかの環境・速報版」（豊中市環境報告書）では令和７年度（2025年度）の活動実績をふまえて、環境目標に対する取組みの進ちょく状況の速報結果等を公表しています。
市民のみなさんからのご意見、ご提案を受けて、
今後の施策の展開・事業の見直しを行います。

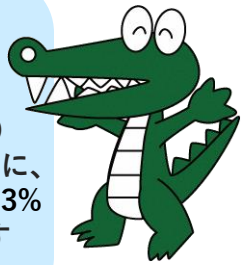
環境目標

目標１

よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む

目標２

１人あたり温室効果ガス排出量（t-CO_2）を令和９年度（2027年度）までに、平成２年度（1990年度）比38.3%削減し、脱炭素社会をめざす



目標３

発生抑制･再使用と質の高いリサイクルの推進により、ごみの焼却処理量を令和９年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

目標４

みどり率27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

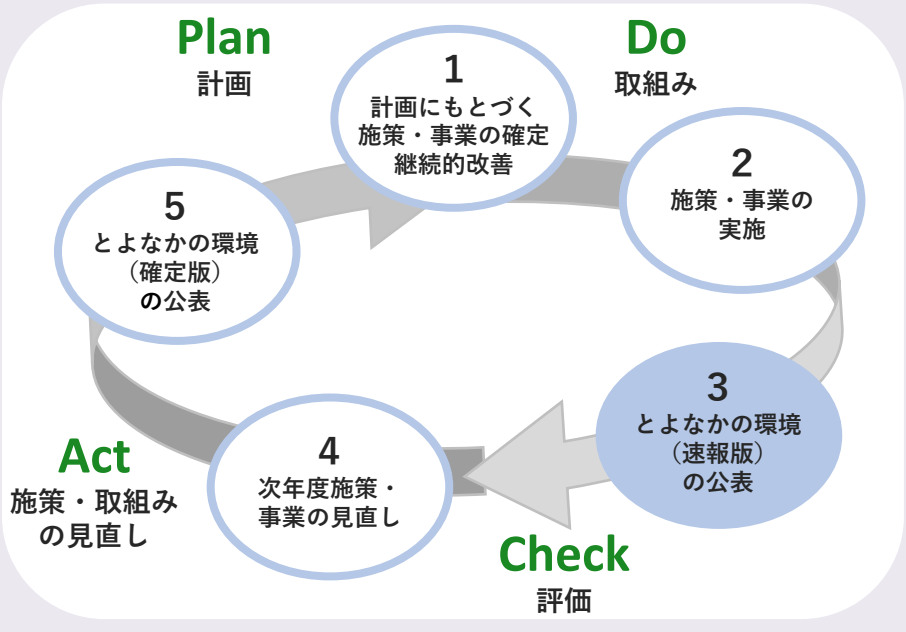
目標５

環境基準の達成状況100%で快適な都市環境をめざす

計画の進め方

計画の推進を着実に図るために、PDCAサイクルによって毎年度、活動を評価し、進行管理を行っています。

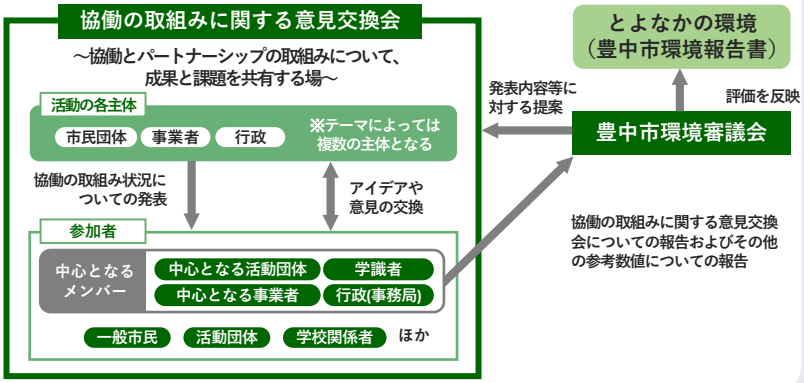
環境審議会と市民のみなさんからのご意見やご提案をもとに施策・事業を見直し、改善を図りながら、目標の実現をめざして取り組んでいきます。



2025年度　環境目標に対する進ちょく状況の見方

目標1

協働とパートナーシップの取組みに対する評価のプロセス



協働とパートナーシップの進行管理

多様な主体のパートナーシップの取組み成果や課題を共有する「協働の取組みに関する意見交換会」を毎年開催しています。

進ちょく評価

速報版では、「都市のみどりや地域の身近なみどりの創出」をテーマに実施した「協働の取組みに関する意見交換会」の開催結果について紹介しています。

目標2～5

環境目標

各環境分野ごとに環境目標を設定しています。

市の取組み

市の主な取組み内容を紹介しています。

指標の進ちょく状況

代表指標は目標達成に最も影響を与えるものです。その他の指標は、代表指標を補完するものまたは影響を与えるものです。



評価の判断基準

環境基本計画の進行管理として、目標２・４は、代表指標に目安線をひいています。目安線と数値の関係や前年度との比較でＡ～Ｄをつけています。

目標３は、第４次豊中市一般廃棄物処理基本計画〈改定〉の年度目標値と数値を比較して評価をつけています。

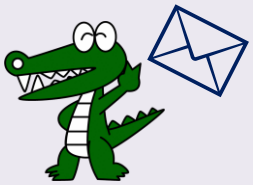
A	今年度の目標を達成しました 目標達成のめやす以下かつ前回値以下
B	今年度の目標を達成しましたが、さらに努力が必要です 目標達成のめやす以下かつ前回値より大きい
C	改善の傾向にありますが、更なる努力が必要です 目標達成のめやすより大きく、前回値以下
D	改善の傾向にありません 目標達成のめやすより大きく、前回値より大きい

備考：目標4は以上を以下、以下を以上に読み替える。大きいを小さいに読み替える。

目標５は、すべての環境基準を達成した場合「Ａ」、達成していない場合「Ｄ」をつけています。



豊中市の推計人口
2025年4月1日現在　397,521人
2026年4月1日現在　397,430人



目標 1

環境分野 ▶環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

よりよい環境をめざして 多様な主体のパートナーシップで 取り組む

2025年度の取組み

協定を締結しクールスポット確保

熱中症による健康被害の防止を目的として、民間事業者と協定を締結し、気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クールスポット）を運用しました。（2025年度実績：6者52か所）





自然体験型環境学習を実施

森林環境保全に関する自治体間連携協定に基づき、小学生を対象に自然体験型環境学習（能勢町・隠岐の島町）を実施しました。自然豊かな現地に赴き、都市部では叶わない体験を通して環境について学びました。





協働の進ちょく状況

「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマ

「都市のみどりや地域の身近なみどりの創出」～人と自然が共生するまちづくりをめざして～

豊中市における身近なみどりの創出の活動状況

豊中市において身近なみどりの創出に取り組む以下の12団体から、活動内容を紹介いただきました。

直原ウィメンズクリニック

- 新千里南町近隣センター内の花壇での、花や野菜の栽培
- 子どもや近隣の高齢者、農家の協力もあり、地域の方々との橋渡しや交流の場となっている



SOMPOケア（株）そんぽの家

- 入居者や地域住民に親しまれる花壇づくり活動
- 花壇の整備により地域の方とのコミュニケーションが増加





追手門学院幼稚園

- 園児と一緒に園内の花壇等で、草花や野菜づくりを実施

トレジャーキッズふれあい緑地保育園

- 公園やビオトープの清掃活動、落ち葉や木の実を活用した自然遊びなどにより、自然環境の中で子どもたちが自ら学び、自然と共に生きる力を育む

豊中商工会議所

- 「とよなか花いっぱい大作戦」に係る花壇維持を支える企業・個人・団体スポンサー募集の周知協力

豊中青年会議所

- 食育の観点から子どもたちに農業体験の機会を提供することが、環境活動のきっかけにつながった

豊中緑化リーダー会

- 豊中市内の協働育苗グループ36団体の参加による年2回（春・秋）の種まき、ポット上げの実施
- 協働育苗グループ・相談所を通じての小学校・こども園等への花苗配布
- 豊島公園内花壇・千里局花壇等の植付
- リーダー会員が持ち帰っての植付
- 大池小学校・中豊島小学校支援
- 市民向け講習会



豊中駅前まちづくり推進協議会

- 主に阪急電鉄豊中駅周辺の三井住友銀行、りそな銀行、商店街に設置された「こもれびガーデン」の花壇での花の育成
- 大池小学校での児童による苗植えの協働作業や支援等
- 「豊中駅前まちづくりニュース」での駅周辺の花の紹介



豊中市における身近なみどりの創出の活動状況

千里中央公園パークマネジメント(株)
コミュニティスペース「LABO」

- 公園に年中無休で駐在し、公園利用者の相談対応やサポートを実施
- 利用者や地域住民・事業者・学生・ボランティア等と協働し、公園の環境を活かした体験や観察会等、地域に根ざした魅力ある公園づくりに取り組む



NPO法人　花と緑のネットワークとよなか

- 土壌改良材「とよっぴー」の製造と資源循環啓発事業の受託
- とよっぴーの配布活動
- とよっぴーの袋詰め作業
- 学校の米作り支援
- 家庭の生ごみ堆肥化講習会の開催
- とよっぴー農園で見学体験や収穫体験の実施
- 府立服部緑地コミュニティ農園の開設と運営の業務委託

豊中市環境部公園みどり推進課

- 駅前等草花管理業務、バラ園育成管理業務、花しょうぶ園育成管理業務の実施
- 「とよなか花いっぱい大作戦」として、公園や会社、自宅で花を植えている方をサポーターとして登録し、スポンサーからの協賛により花壇等の維持管理を実施



豊中市立北丘小学校

- 4年生の理科の授業にて、ツルレイシを育て、緑のカーテンを作る取組みを実施
- 地域の方の協力のもと畑で農作物を育てる経験を通じ、身近な緑に触れ合いながら、緑を大切にする授業を実施



開催結果

豊中市の特徴・成果

①　多様な主体の参画

行政の関係部局に加え、教育機関や福祉・医療関係者、市民団体、事業者など多様な主体が身近なみどりの創出に参画している。また、「身近なみどり」をそれぞれの事業の特性や立地等に応じて楽しみ活用する姿が見られる。

②　活発な地域の緑化活動

地域全体で花と緑を育てる文化が育っており、育苗・花壇維持のみならず、それらを支えるスポンサー活動等、市民・事業者・団体・行政が一体となった協働の取組みが展開されている。

③　緑化活動を通じた、市民同士の交流や地域コミュニティ形成の促進

花と緑を介した活動が地域住民同士の交流や対話、事業活動認知のきっかけとなり、子どもから高齢者まで多世代が関わるコミュニティの形成につながっている。

活動における課題

①　緑化活動の認知・参加機会の見えにくさ

・活動団体の取組みが市民に伝わっていない。
・活動に関心のある人に活動情報が届いていない。
・活動を手伝いたい人と受入側をつなぐしくみが不足している。

②　担い手の高齢化と次世代継承

・活動メンバーの高齢化・固定化が進んでおり、若い世代の参加が少ない。
・高齢化に伴う免許返納などで運搬手段に困る団体もある。
・働き方や生活様式の変化により新たな活動メンバーの確保が難しい。



今後の展望

①　団体間で協力し合うしくみづくり

・団体間の交流を深め、花苗の運搬など個別の団体では対応が難しい課題を相互に支え合う体制を構築する。
・活動を取り巻く複合的な課題の解決に向け、緑化分野にとどまらず、福祉・教育・経済分野等との連携・協働を検討する。

②　活動情報の積極的な発信と参加者の裾野を広げるしくみづくり

・地域のイベントや子ども向け活動などを活用し、活動の認知度向上や将来の担い手育成を図る。
・活動の実施日時などを分かりやすい場所に明示することで、参加しやすいしくみをつくる。
・既存の活動拠点以外でも活動を展開することで、新たな地域住民との接点を創出する。
・自治会やマンション管理組合など、新たな活動メンバーの確保につながりそうな場所に活動情報を共有する。

目標 2

１人あたり温室効果ガス排出量（t-CO_2）を令和９年度（2027年度）までに、平成２年度（1990年度）比38.3%削減し、脱炭素社会をめざす

2025年度の取組み

クリーンランド電力の活用による脱炭素化の推進

豊中市伊丹市クリーンランドで発電する電力を小・中学校及び義務教育学校等の市有施設で活用し、電力の脱炭素化と地域内電源を活用した電力の地産地消を進めました。



事業者向け脱炭素経営支援事業を実施

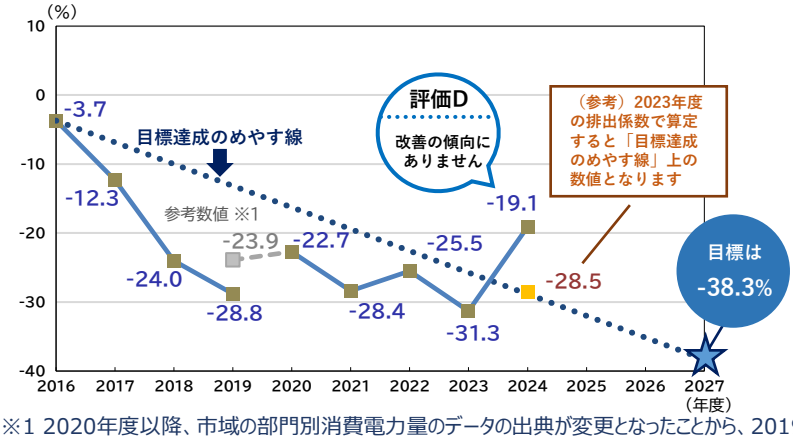
市内事業者向け脱炭素経営セミナー、スクール併せて14者に参加いただき、市内事業者の脱炭策素経営の推進につながりました。



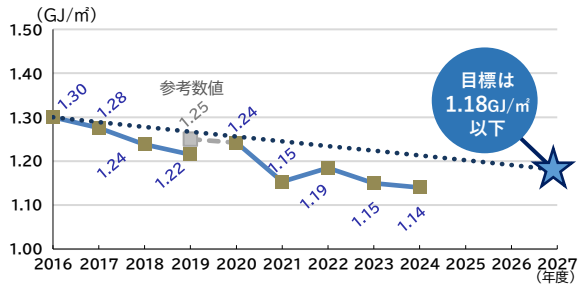
指標の進ちょく状況

代表指標

市民１人あたり温室効果ガス排出量（t-CO_2/人）平成２年度（1990年度）比（%）



業務部門の床面積１㎡あたりのエネルギー消費量（GJ/㎡）



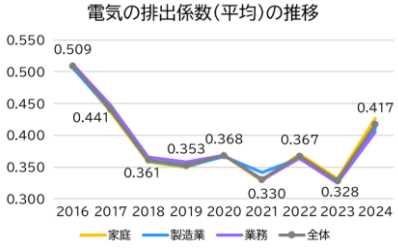
※1 2020年度以降、市域の部門別消費電力量のデータの出典が変更となったことから、2019年度以前の推計値と非連続になっています。
そのため、2019年度から2020年度の全国的な消費電力量変化が豊中市においても生じたと想定して参考数値を算出しています。

指標		目標	直近値 2023年度	直近値 2024年度
部門別温室効果ガス排出量（t-CO_2）平成2年度(1990年度)比(%)	産業部門	-66.0	-66.6	-65.2
	家庭部門	-32.0	-9.0	13.8
	業務部門	-11.0	-17.8	-4.3
	運輸部門	-46.0	-32.5	-18.4
	廃棄物部門	-33.0	-14.3	-12.7

指標	目標	直近値 2023年度	直近値 2024年度
家庭部門市民1人あたりエネルギー消費量（GJ/人）	減少	13.1	13.6
再生可能エネルギー等設備導入量(kW)	増加	30,797	33,135
市民1人あたりの自家用車の登録台数(台/人)	減少	0.248	0.250
市内に登録された自動車1台あたりの温室効果ガス排出量(t-CO_2/台)	減少	1.39	1.68
市内に登録された自家用乗用車のうち電気自動車等の割合(%)	増加	29.7	32.7

◆令和６年度（2024年度）の１人あたり温室効果ガス排出量は、前年度より大幅に増加しており、目標達成のめやす線を上回っています。これは電気の排出係数※2の算定手法の変更※3に伴い、従前と比べて排出係数が大きく上昇したことによるものです。また、エネルギー消費量を部門別で見ると、家庭部門は増加した一方、業務部門は減少しています。

電気の排出係数(平均)の推移



※2 電力会社が電力を作り出す際に、どれだけのCO_2を排出したかを示す数値で、1kWhの電力を発電する際のCO_2排出量のことです。「電気使用量×排出係数＝電気を使用した人のCO_2排出量」となります。（右図参照）

※3 国の温室効果ガス排出量算定における基礎排出係数の考え方が変更されたことに伴い、令和6年度（2024年度）実績分から新たな考え方に基づく基礎排出係数を適用しています。この変更により、基礎排出係数が従前より大きくなる傾向があるため、電力使用量が同程度でも、温室効果ガス排出量は従前より大きく算定される場合があります。

目標 3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進により、ごみの焼却処理量を令和９年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比８％削減し、循環型社会の構築をめざす

2025年度の取組み

サーキュラーエコノミー

環境省が実施する地域の資源循環促進支援事業を活用し、行政・事業者等との連携基盤を構築するとともに、本市における製品プラスチックの新たな資源循環へのビジョンを作成しました。



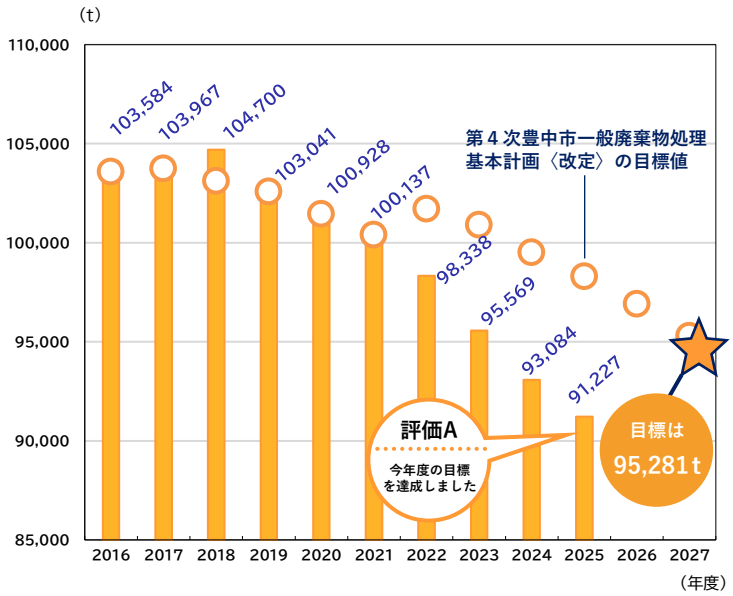
SAFの推進

SAF(持続可能な航空燃料）のさらなる推進のため、新たな連携事業者の発掘のほか、公共施設における回収拠点の可能性調査を実施し、直営による廃食油回収の可能性について検討し、令和８年度（2026年度）の新たな連携協定締結、取組み実施につなげました。

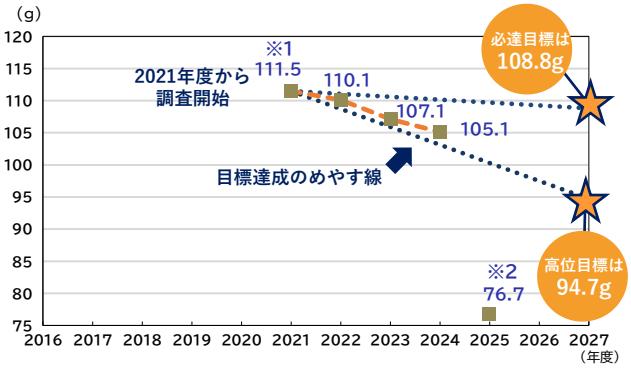


指標の進ちょく状況

代表指標 **焼却処理量（ｔ）**



食品ロス１人１日あたり量（ｇ）



※１ 令和3年度（2021年度）から令和6年度（2024年度）は、令和元年度（2019年度）家庭系ごみ、令和2年度（2020年度）事業系ごみ排出実態調査の組成割合を基に算出。
・令和元年度（2019年度）家庭系ごみ：17.74%
・令和２年度（2020年度）事業系ごみ：16.68%

※２ 令和7年度（2025年度）は、令和6年度（2024年度）家庭系ごみ、令和7年度（2025年度）事業系ごみ排出実態調査の組成割合を基に算出。
・令和6年度（2024年度）家庭系ごみ：13.39%
・令和7年度（2025年度）事業系ごみ：12.11%



指標	目標	直近値 2024年度	直近値 2025年度
家庭系ごみ1人1日あたり排出量(g)（再生資源は除く）	394	379	373
事業系ごみ排出量(t)（再生資源は除く）	36,601	36,711	35,575



◆ ごみ焼却処理量は、令和６年度（2024年度）比で、1,857ｔ減少しています。

◆ 食品ロス１人１日あたり量は、令和６年度（2024年度）比で推計値として28ｇ減少しています。

目標 4

環境分野 ▶都市における自然との共生をめざした社会づくり

みどり率27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

2025年度の取組み

緑化樹配付

市内のマンション管理組合、学校、公共施設などに対して、緑化樹木の配付を行い、市民等の参加によるみどりのまちづくりを推進しました。



緑化樹の植樹風景

公園大改革の推進

グリーンインフラの中核的な役割を担う公園について、環境・防災・健康・地域活性化など多様な機能を活用できるよう大胆なリニューアルを進めています。
公園ブラッシュアッププロジェクト※1や魅力アップツリー事業※2を通じて、身近にみどりを感じられる憩いや癒しの空間づくりを推進しました。



整備前



整備後

公園ブラッシュアップ



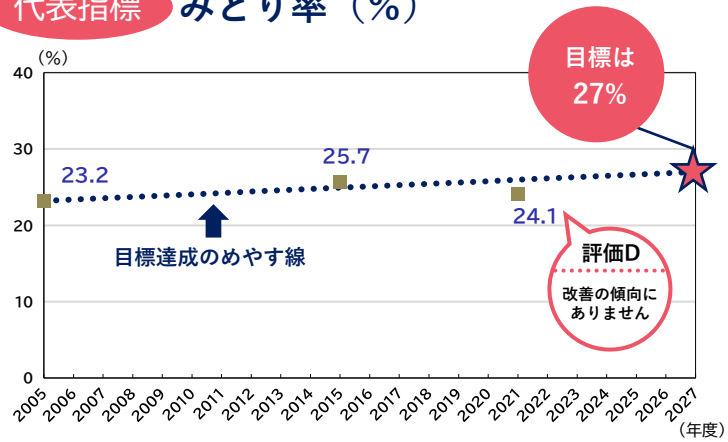


魅力アップツリー

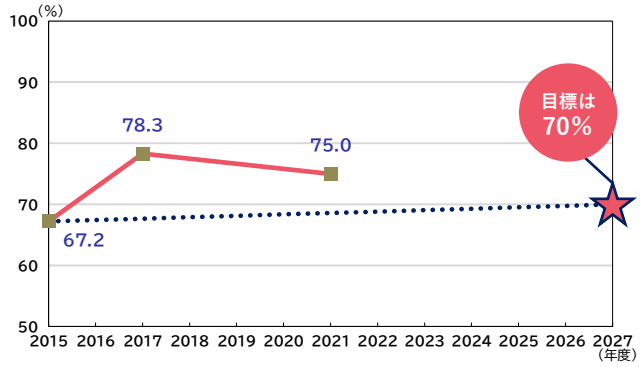
※1 バリアフリー化、遊具の塗り替え、出入口拡幅等の公園整備事業
※2 寄附による植樹受付事業

指標の進ちょく状況

代表指標 みどり率（%）



みどりに対する満足度（%）



指標	目標	直近値 2024年度	直近値 2025年度
緑被率(%)	15.7	—	—
市民1人あたりの公園･緑地面積(㎡/人)	7.17	7.12	7.16
みどりに関するイベント参加者数(人)(累計)	累計 150,000	79,050※	93,876

指標	目標	直近値 2024年度	直近値 2025年度
市民参加による生物調査の参加者数(人)	増加	53	52
生物多様性の認知度(%)(「言葉の意味を知っていた」の回答比率)	増加	—	—
景観に関する項目が盛り込まれている地区計画･協定等の数(件)	増加	48	—

※公表データから数値修正あり。 2024年度 14,362人→14,406人 44人増より累計値修正。

◆ みどり率は、開発行為や自然災害の影響による樹林・樹木の減少、草地・芝地・屋上緑化の増加や樹木の生育状況を総合して、減少傾向となっています。
◆ みどりについては、「量」だけでなく「質」の向上を目的とする施策の導入強化を図る必要があります。

みどりに関する指標の用語説明

第２次豊中市みどりの基本計画では、以下のとおり定義しています。
◆ みどり：樹林・樹木、草地・芝地、農地、水面、屋上緑化、これらと一体となったオープンスペースなどの緑地のこと。
◆ みどり率：樹林・樹木、草地・芝地、農地、水面、屋上緑化が市域に占める割合
◆ 緑被率：樹林・樹木の面積が市域に占める割合

目標 5

環境分野 ▶安全で快適な都市環境づくり

環境基準の達成状況100％で快適な都市環境をめざす

2025年度の取組み

「豊中つばさ公園『ma-zika』」

今まで未利用であった大阪国際空港周辺緑地を緩衝緑地として整備し、水とみどりと空を一体的に体感できる公園として市民に開放しました。





みどりのカーテンづくりの推進

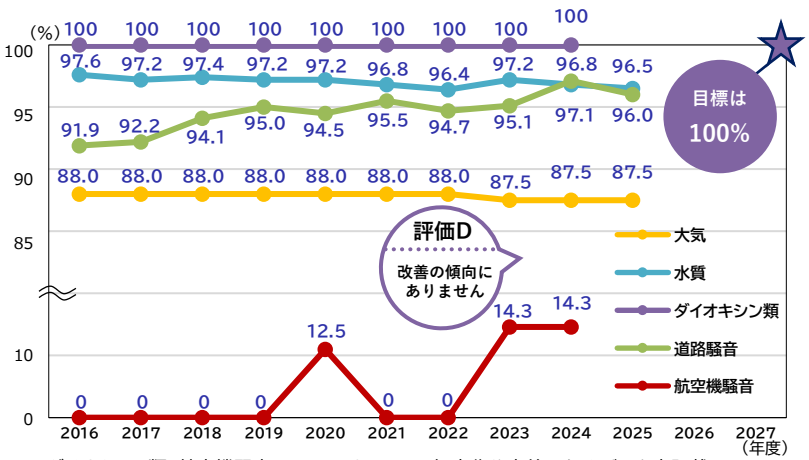
緑化の推進をはじめ、ヒートアイランド現象を緩和するといった地球温暖化防止策の一つとして、小学校を中心に、葉が大きくて成長が早いゴーヤなどを使ったみどりのカーテンづくりの支援に取り組んでいます。





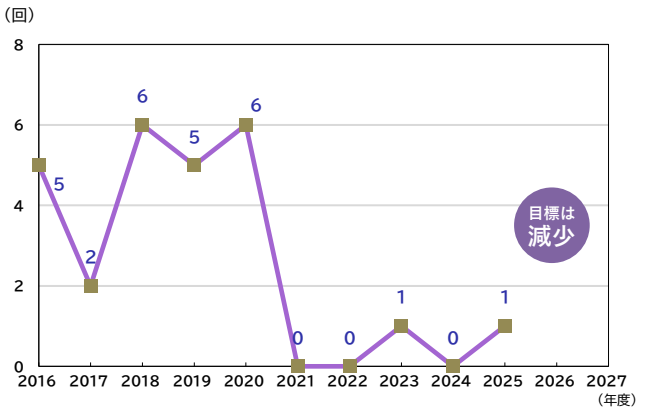
指標の進ちょく状況

代表指標 環境基準達成状況（%）



※ダイオキシン類、航空機騒音については、2025年度分公表前のためデータ未記載。

大気に関する注意喚起回数（回）
（光化学スモッグ予報・注意報、PM2.5（微小粒子状物質））





指標		目標	直近値 2024年度	直近値 2025年度
雨水排水整備率(%)		増加	82.2	82.2
環境配慮のうち雨水利用に関するもの（累計）	雨水利用の件数(件)	増加	11	13
	雨水利用の容量(L)	増加	202,530	222,680



◆大気、水質、道路騒音では令和６年度（2024年度）と同様に、高い環境基準達成率を維持しています。
◆環境基準を達成していない項目については広域的な課題・自然由来の影響となっています。
◆大阪国際空港の着陸ルート直下に位置していることから、航空機騒音は達成率が低い状況が続いています。

市民・事業者みんなで取り組もう！

環境交流センターを利用しよう

「地域の中で地域と共に」をコンセプトに、環境活動や環境学習などを提供する誰もが集える施設です。

子ども向けワークショップなど環境をテーマに様々なイベントも開催。交流スペースやキッズスペースも充実。お気軽にご利用ください。



詳しくはこちら

市民公益活動支援センターを利用しよう

市民公益活動支援センターは市民・事業者・団体の公益活動をサポートする施設です。

活動のご相談、情報の受発信や交流の場として、また、地域コミュニティのご相談など多方面から活動をサポート。お気軽にご相談ください。



詳しくはこちら

「断熱住宅」を考えよう

住まいの窓や壁等を熱を伝えづらいものにする「断熱住宅」にすることで、室内外への熱の出入りを抑え、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境となります。それにより、冷暖房の使用量を抑え、CO_2排出量や光熱費を削減することができます。



詳しくはこちら

脱炭素経営に取り組もう

中小事業者にも脱炭素経営が求められています。豊中市では市内事業者を対象に様々な支援を実施しています。省エネやコスト削減、企業価値向上につながる経営改善の一歩として、ぜひご活用ください。



詳しくはこちら

廃食油の回収に協力しよう

豊中市では、使用済みの廃食油を集めてSAF等に作りかえる取組みを推進しています。

家庭から出る「使用済み食用油」を捨てるのではなく有効活用しませんか。

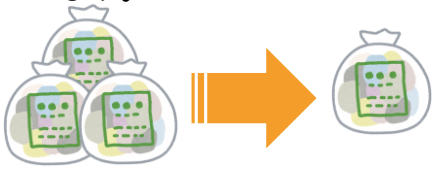
※SAFとは持続可能な航空燃料のことで従来の燃料よりも環境に優しい燃料です。



詳しくはこちら

ごみ処理機設置補助を活用しよう

市内に事業所を有する事業者のみなさまに向けて、ごみ処理機の設置にかかる費用の一部補助を実施しています。



詳しくはこちら

身近な生きものに親しもう

「生物多様性くらしナビ まいのちosaka」では楽しみながら生物多様性について、分かりやすく知ることができます。

生物多様性について学んでみましょう！

詳しくはこちら



花いっぱい大作戦に協力しよう



豊中市では花いっぱいのまちをめざし、花いっぱい大作戦を推進しています。

花を育てるサポーターや、活動を支えてくださるスポンサー等、花いっぱいのまちづくりにぜひご協力ください。

詳しくはこちら

クールスポットでひと涼みしよう

豊中市では市民のみなさまが暑さから逃れ休憩できる「クールスポット」を設置しています。

夏の暑い日、お出かけ途中で熱中症になりそうなときは、ぜひクールスポットをご利用ください。



詳しくはこちら

石綿の飛散防止対策を徹底しよう

建築物等の解体・改修工事では、石綿の有無を着工前に適切に調査し、法令に基づく報告や飛散防止対策を実施する必要があります。周辺環境の保全のため、確実な対応をお願いします。

大阪府HP：
https://www.pref.osaka.lg.jp/o120080/jigyoshoshido/asbestos/todokede.html

詳しくはこちら